

東芝における 水化学技術者育成について

2016年3月15日

株式会社 東 芝
原子力機械システム設計部
浦田 英浩

この技術資料は弊社の所有財産であり、未出願特許情報、ノーハウ等の機密情報を含んでおりますので、この技術資料に記載された技術情報の一部または全部を第三者に開示されることのないようお願いいたします。

株式会社 東芝 原子力事業部

目次

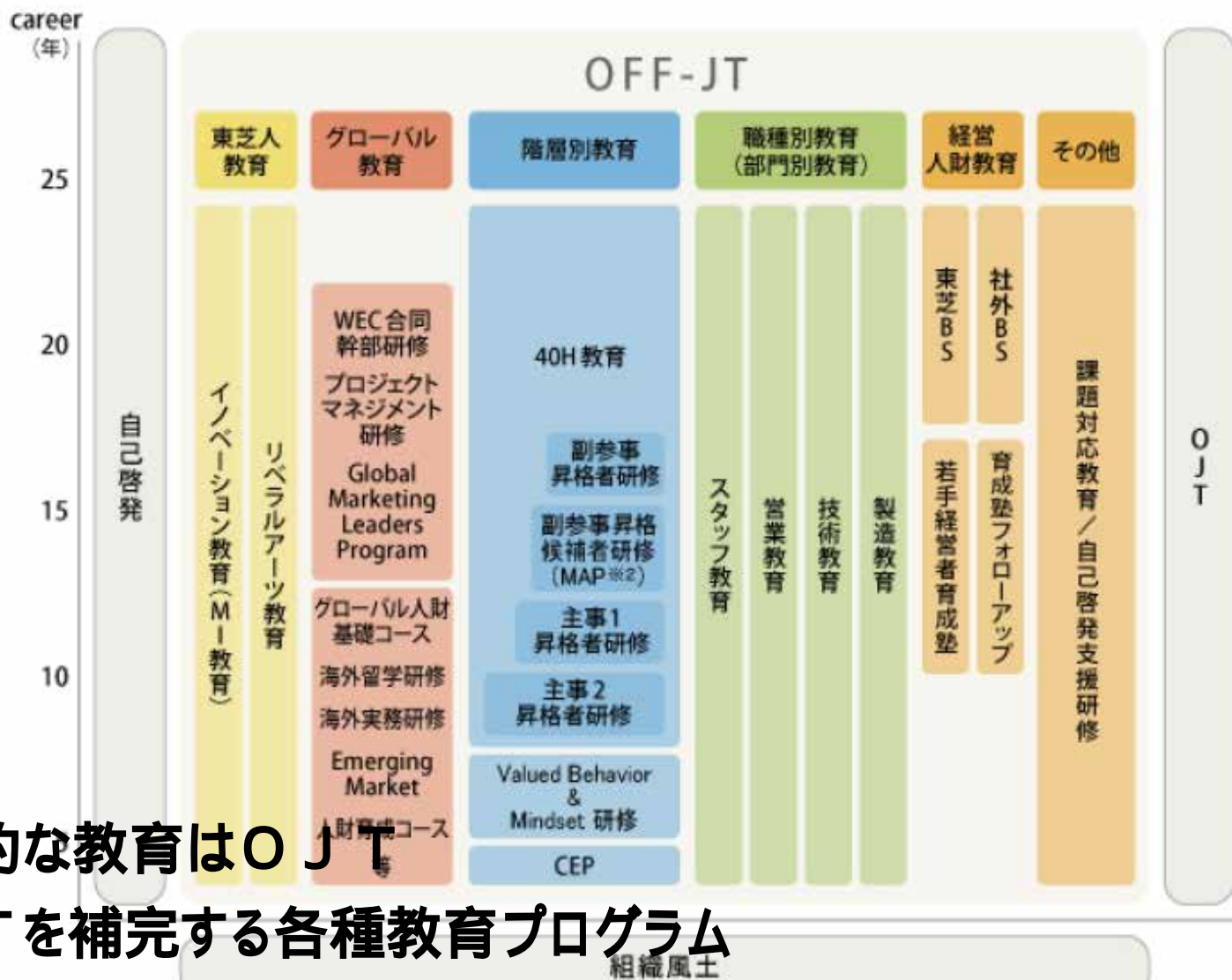
東芝の技術者育成プログラム

東芝での水化学技術者育成方法

東芝での水化学技術者育成における課題

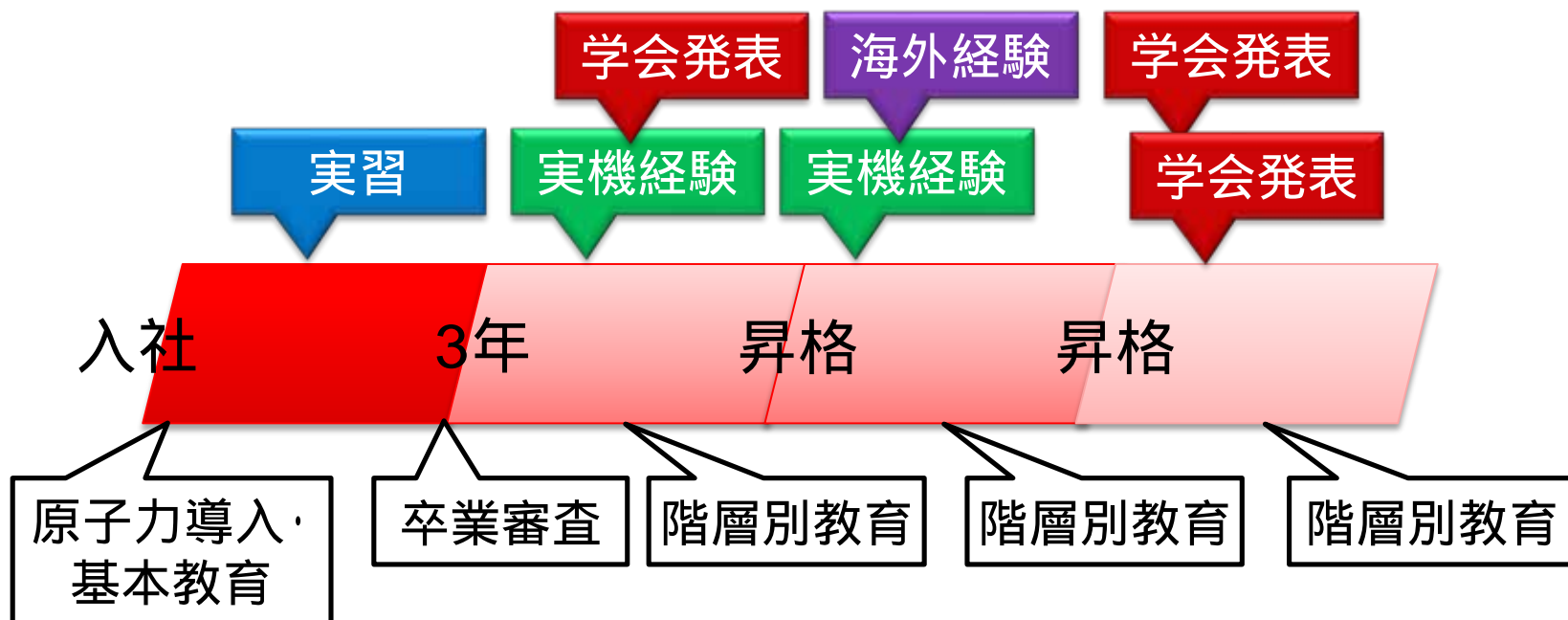
原子力業界・大学への提言

1. 東芝の技術者育成プログラム



- ・基本的な教育はOJT
- ・OJTを補完する各種教育プログラム
- ・新入社員から経営幹部まで各階層に合わせたプログラムを準備

2 . 東芝での水化学技術者育成方法



- 水化学技術者育成においてもOJT中心
- 入社3年目までに、原子力発電所及び工場・研究所実習を実施
- プラント改良工事（水処理・水化学）での実機経験
- 社内外研究による知見拡充
- 国内外での学会等発表による自己研鑽・情報交換・人脈形成

3 . 東芝での水化学技術者育成における課題

募集段階

- 原子力人気が低く、優秀な学生が志望が少ない（業界全体）
- 電機会社を志望する化学屋が少ない（メーカー特有）

育成段階

- 新規発電所建設がないため、現場実習経験が少ない（業界全体）
- プラント改良工事が少ないため、実機経験が少ない（業界全体）
- 他業務（新規制対応・再稼働対応等）が繁忙なため、他の設計業務へ技術者をスライド（メーカー特有）

現状

- 現場経験の少ない水化学技術者
- 水化学技術者の人数縮小、高齢化

4 . 原子力業界・大学への提言 (人財育成)

- 若手技術者の現場体験の機会創出
- 原子力関連施設の有効活用
 - 発電所での現場経験の創出
 - B T C 等設備の活用 (一部実施済)
- 電力技術者とメーカーとの技術交流
 - 水化学技術者間での情報共有・技術力維持
 - 若手技術者のプレゼン機会創出
 - 共同研究の推進、活発化
- 大学・大学院学生の積極的な機会提供
 - インターン制度の充実 (一部実施済)
 - 原子力学会若手の会との連携

4 . 原子力業界・大学への提言 (技術力維持)

- 再稼働後に向け、プラントデータに基づくデータ評価の仕組作り
- 定期的な水化学データ評価・解析業務の実施
 - プラントデータのオープンな議論実施
 - 国内水化学業界全体での情報共有による技術力維持
- 学会水化学管理指針に基づく P D C A サイクルの運用
- 水化学からの自主的安全性向上への貢献
 - P D C A 運用への若手技術者の登用による技術力向上
 - 学会・電力・メーカー等関連機関の強力な連携

TOSHIBA

Leading Innovation >>>